

令和5年第1回議会定例会

7年連続一般会計当初予算70億円超 統合小学校に係る調査設計費を減額



統合小学校の建設が予定されている中学校敷地

令和5年第1回議会定例会は、3月8日から29日までの22日間にわたって開催されました。町側からは専決処分の報告2件、承認1件、契約の締結2件、4年度一般会計ほか4会計の補正予算、条例の廃止1件を含む一部改正9件、令和5年度一般会計を含む7会計予算のほか副町長の選任など人事同意案4件が提案され、5年度一般会計予算を除きそれぞれ原案のとおり受理、承認、可決しました。

5年度一般会計当初予算は、町長選挙があったことから義務的経費や継続事業費などが主な骨格予算で、6月議会定例会で町長の政策的経費が補正で肉付けされます。小学校一校統合については、計上されていた統合小学校建設調査設計業務委託料を減額した修正案を可決しました。

| | |
|---|--|
| <p>補正第9号</p> <p>歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億8491万円を減額し、85億3826万円とするものです。</p> <p>＜歳入の主なもの＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土木費国庫補助金 $\Delta 3970$万円 ○農林水産業費県補助金 $\Delta 3270$万円 ○ふるさと寄附金 3000万円 <p>＜歳出の主なもの＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産地パワーアップ事業 $\Delta 2324$万円 <p>資材高騰により、事業導入農家が施工面積を縮小したことなどにより減額するものです。</p> | <p>補正第10号</p> <p>長野電鉄列車無線工事が、半導体不足の影響で年度内に完了できないため、負担金487万円を繰越明許費に追加するものです。</p> |
| <p>令和4年度一般会計補正予算 (第9・10号)</p> <p>ふるさと寄附金3億4025万円 今年も最高額を更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナ対応事業者支援給付金 $\Delta 1390$万円 ○社会体育館解体工事 $\Delta 2639$万円 ○岳南広域消防組合負担金 $\Delta 2275$万円 ○統合小学校建設調査 $\Delta 3372$万円 <p>統合小学校建設調査、測量調査などを翌年度事業とするものです。</p> | |

議会だより

YAMANOUCHI TOWN COUNCIL

第133号
令和5年5月25日 (2023)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 高山 祐一
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページと
議会フェイスブックは
町ホームページからアクセス



もくじ

| | |
|----------------|----|
| 令和5年第1回定例会関連記事 | 26 |
| 一般質問 | 28 |
| 誌上議会報告会アンケート結果 | 38 |
| 陳情・議会全員協議会・表彰 | 39 |
| 予算審査 | 40 |
| あの意見どうなった? | 42 |
| みんなのひろば・編集後記 | 43 |

第1回定例会

条例の一部改正

深刻な消防団員の

なり手不足

年額報酬・出勤報酬を増額

消防団員の定員、
任免、給与、服務
等に関する条例

これらの処遇改善による
影響額は、年約820万円
になります。

バス置き去り防止
安全確認を徹底

放課後児童健全育
成事業の設備及び
運営に関する基準
を定める条例

送迎バスに園児の乗り残
し事故がたびたび発生し社
会問題になり、安全計画の
策定等、送迎車を運行する
場合の所在の確認および事

かねてから懸案だった消
防団員のなり手確保に向
け、班長・団員・機能別団
員の年額報酬と出勤報酬を
増額する処遇改善を行うも
のです。年額報酬について
は、消防庁からの通知もあ
り、国の基準額を満たして
いなかった階級について引
き上げ、均衡をはかりまし
た。

これまで「特別職の職員
の給与に関する条例」で定
めていた団員の年額報酬と
分団交付金要綱で定めてい
た出勤報酬を本条例の別表
で規定しました。

| 階級 | 年額報酬(改正前) | 年額報酬(改正後) |
|-------|-----------|-----------|
| 団長 | 200,600円 | 同額 |
| 副団長 | 129,300円 | 同額 |
| 分団長 | 72,200円 | 同額 |
| 副分団長 | 52,100円 | 同額 |
| 部長 | 45,400円 | 同額 |
| 班長 | 25,000円 | 41,000円 |
| 団員 | 20,000円 | 36,500円 |
| 機能別団員 | 10,000円 | 20,000円 |

| 区分 | 出勤報酬(改正前) | 出勤報酬(改正後) |
|------------------------------|-------------|---------------------------------------|
| 災害出勤の場合 (火災・水災) | 1日につき1,500円 | 1日につき 4時間未満 4,000円 4時間以上 8,000円 |
| 新設 その他の出勤の場合 (警戒、訓練など) | | 1日につき 4時間未満 2,000円 4時間以上 4,000円 |

業継続計画
の策定等を
義務付ける
児童福祉法
省令の一部
改正にとも
ない、バス
乗降時にお
ける安全確
認を徹底す
るためのも
のです。



安全を祈る保育園児の送迎バス

出産一時金を増額

国民健康保険条例

被保険者が出産したとき

に世帯主に一時金として支
給される出産育児一時金の
額を、現行の40万8千円か
ら48万8千円にするもの
です。

条例の制定

議会の個人情報保 護に関する条例

(発委第1号)

「個人情報保護に関する
法律」が改正され、令和
5年4月1日以降、各地方
公共団体の個人情報保護制
度については「改正個人情

報保護法」の規定による共
通ルールが直接適用される
こととなりますが、各地方
公共団体の議会は、その共
通ルールの対象から除外さ
れ、自律的な対応に委ねる
ものとされました。町議会
としては、引き続き個人情報
報の適正な取扱いを確保す
るため、議会運営委員会の
発委(提案)により条例制
定するものです。

人事案件

増田孝志副町長および柴
草隆教育長の退任にともな
い、副町長に県職員久保
田敦氏、教育長は「こども
の育ちと学び研究所」代表
の竹内延彦氏を後任とする
ものです。

副町長および
固定資産評価員の
選任

久保田 敦

(52歳・飯綱町)

任期は4月1日から9年
3月31日まで。

教育長の任命

竹内 延彦

(56歳・長野市)

任期は柴草前教育長の残
任期間の4月1日から令和
6年6月30日まで。

固定資産評価審査 委員会委員の選任

宮崎 健一

(70歳・横堰)

任期は4月1日から8年
3月31日まで。

ズバリここが知りたい

論戦

選挙公約の実現に向けて、これからの町政について、小学校統合や教育課題、総合型地域スポーツクラブ、経済活性化、農業・観光振興、交通空白地域住民への移動支援 など

3月20日、22日、23日の3日間にわたり行われ、登壇議員は9人、傍聴者は延べ56人でした。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

※感染症拡大防止のため、議員・答弁者・傍聴人全員がマスクの着用・手洗いなどを行い、議場内は演壇と質問席に仕切り板を設置し、開催しました。休憩時には換気を行い、傍聴人数も15人までとさせていただきます。ご理解ご協力いただきありがとうございました。

| | | |
|---|---|--|
| ① |  湯本 晴彦 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済活性化について ・観光活性化について ・小学校1校統合について ・開かれた町政について |
| ② |  塚田 一男 | <ul style="list-style-type: none"> ・公約について ・小学校1校統合について ・総合型地域スポーツクラブについて |
| ③ |  西 宗亮 | <ul style="list-style-type: none"> ・平澤町長の選挙公約について ・通学路交通安全について |
| ④ |  山本 岩雄 | <ul style="list-style-type: none"> ・これからの町政について ・佐野遺跡保存活用計画について ・現在進められている小学校統合計画について ・観光・農業立町としての環境への取り組みについて |
| ⑤ |  高田 佳久 | <ul style="list-style-type: none"> ・選挙公約等の実現に向けた取り組みは |
| ⑥ |  湯本るり子 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の町長選挙について ・農道の管理について ・教育行政、小学校の統廃合問題について ・平和行政について |
| ⑦ |  渡辺 正男 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校の教育環境をどう評価するか ・公共交通空白地域の住民の外出・移動支援にどう取り組むか ・第2期スポーツ推進計画策定にどう取り組むか ・医療の負担軽減にどう取り組むか |
| ⑧ |  小林 克彦 | <ul style="list-style-type: none"> ・選挙戦の総括と政治姿勢について ・選挙管理委員会への問い合わせについて ・公たる身分の者のプライバシーとモラルについて ・期待を受けている活躍の成果について ・公約の詳細について |
| ⑨ |  白鳥 金次 | <ul style="list-style-type: none"> ・選挙公報について ・選挙用ビラについて ・統合小学校について ・選挙結果について |

小学校1校統合しない可能性は

町長—100年に1度の大事業、慎重に進めたい

人口減少問題

【質問】 季節雇用では定住に繋がらない。このためには通年で仕事がある状態にすべき。全町のオフシーズンとなるゴールデンウィーク明けから7月中旬の期間にイベントなどを集中させたり、民間で行っている山開きや新緑祭などをうまく統合したらどうか。

【町長】 世界的にどのリゾート地でもオフシーズン対策に苦戦している。イベントをその時期に絡ませることは非常に良いアイデア。

3観光地の1リゾート化

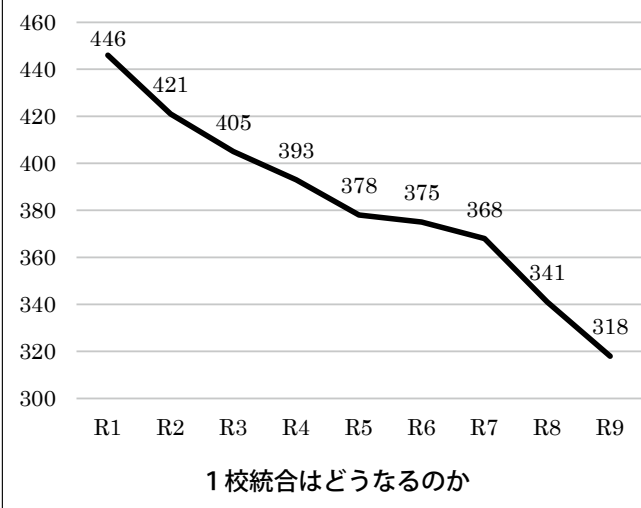
【質問】 町の認知を上げていくためには。

【町長】 インターネットなどを使って目に止まるような対策、来た人がもう1回来



ゆもとはるひこ
湯本 晴彦

3小学校全体の児童数見通し (R3.9.1現在)



たくなる、もしくは友達に教えなくなる、そついつまぢづくりが必要。

【質問】 町に来たというより、湯田中に来た、渋に来た、志賀に来た、北志賀に来たという現状。全体をひとつのコンセプトにまとめた方が発信しやすいのでは。

【町長】 それぞれの地域がしっかりと雰囲気づくりをした上で、全体を取りまとめる「山ノ内町」ということで進めていきたい。

【質問】 全体でまとめた方が補助金を取りやすくなる。また1泊より町内で2泊、1泊2食が町内で1泊3食、

4食と、少しでも町内消費につながるのでは。

【町長】 1食でも1泊でも多く滞在してもらおうのは賛成。その意味で情報発信をしつかりしていきたい。

小学校統合問題

【質問】 町長の考えは教育委員会の方針に沿っているか。

【教育長】 統合をやめるとかではなく、統合自体は進めていくことで全く違うとは考えていない。

【質問】 1校統合しないという可能性は。

【町長】 1校に限定して考えていない。様々なメリット、デメリットがあるが、9年間の一貫教育ができるという側面で、中学校敷地内に小学校を持つてくることは悪くない。

【町長】 100年に1度の大事業。慎重にいきたい。これから数か月かけてしっかりと基本計画を皆さんと一緒に練っていきたい。

庁舎内をどうまとめるか

【質問】 公約実現には職員の仕事量が増えるかと予想される。そのために、多くある〇〇計画というものを必要最低限に留めたり、負担軽減したりはできないか。

【町長】 引き続き調査したい。また、デジタル化で軽減も進めていきたい。

【質問】 町長がたたき台を作ることで外注費も下がるが。

【町長】 私が作るべきだと思う。今後は私がリードしていく。

給料カットも良いが、給料以上に成果を上げてもらいたい

湯本晴彦のつぶやき

保育料、給食費の無料化を目指すとは

町長―財源確保や中長期的観点で前向きに検討する



つかだ かずお
塚田 一男

質問 開かれた町政とは。

町長 今まで町民との対話がなかったと聞いているので、しっかりと町民の声を聞いて町政に反映させたい。

また、住民目線では、町内の事業経営者、子育てをされている皆さまの声をしっかりと聞く機会を持つことで、町政運営ができるのではと思っている。

質問 子育てしやすい町づくりに取り組む。

町長 給食費の無料化には約5〜6000万円の財源確保が必要、保育園の無料化についても、現在3歳未満が有料で、3歳児からは無料化を実施している。3

歳児未満の無料化には1500万円以上の財源が必要で、同時に保育士確保なども必要になることから、引き続き方策を探っていく。

質問 保育士確保にともなう処遇改善を考えると。

町長 保育士確保に係る業務委託は短期的な解決策のため、中長期的には保育士の手当を増やすなど、町として保育士確保ができ、かつ、町内に居住して仕事ができるような、資金的サポートを視野に入りたい。また、他自治体では保育士の手当増額で人員確保への取り組みもあり、この点を含め検討したい。

質問 千葉県では、5年度から多子世帯への給食費無

料化取り組みを開始予定だが、このような施策検討に



栗原 恵 講師によるキッズバレーボール教室
(3月18日 中学校体育館)

ついで。

町長 2人目や3人目からということも良いアイデアと思うので、この点を言め前向きに検討していく。

質問 子ども教育とスポーツ環境を整えるとは。

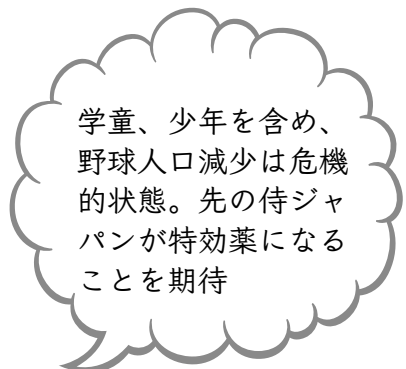
町長 社会体育館がない現在、総合型地域スポーツクラブについての議論が進められているが、どのような施設が必要か。また、例として、小学校統合で中学校敷地内への建設になった場合、プールがなくなるという問題もあるので総合体育館をプール付施設として将来計画することでの解決など、今後しっかりとした検討が必要。

質問 少子化背景の様々な要因とその対策などは。

町長 町でも婚活イベントを実施しているが、出会いの場がない、経済的な格差も問題と思っている。町として、できること、できないことがあるが、婚活イベントの効果は若干疑問に思うところもある。例として、より出会いが増えそうな、ハブのような場所創設など、何らかの対策が必要。

質問 スポーツと医療で健康寿命の町への施策内容は。

町長 医療費の抑制にもつながるので、健康増進と未病・予防に力を入れたい。



学童、少年を含め、野球人口減少は危機的状態。先の侍ジャパンが特効薬になることを期待

塚田一男のつぶやき

町長給料30%カットの根拠は

町長一身を削り町政に取り組む覚悟と決意

平澤新町長の 選挙公約は

質問 「まずは町長給料30%カットから始める」と選挙公約の冒頭にあったが、30%の根拠はなにか。

町長 大きな理由は、「コロナ禍で町の経済が疲弊している中で、町の経済をしっかりと活性化するまで、私も身を削りながら頑張るという覚悟をお示したものである。

私も生活があるので、50%では大き過ぎるし、20%以下だと覚悟が伝わらないと思います。

質問 首長や議員など公職にある人間が得た給料の一部を自主返納することや勝手に一部をカットすることなどは、公職選挙法に抵触する点もあるのではないかと

はご承知か。

町長 承知はしていませんが、公職選挙法に抵触するようなことはできないので、正式な形で30%カットを進めるために総務課ともしっかり話をしながらやっていこう。



小学校統合を見据えてもほしい信号機

いるのか。

町長 必要な条例改正は、6月議会定例会へ提案したいと思う。また、ほかの特別職への影響については、あくまでも私の信念というところで私のみのカットであり、全く何の問題もないと考えている。

小学校統合を 見据えて中学校 校門前に信号機 設置を

質問 通学路交通安全点検は2月に実施され点検箇所や状況がすでに公表された対応の早さは評価するところであるが、昨年の安全点検は8月に実施されているのはなぜか。

教育次長 隔年で夏、冬ということで実施している。今回は非常に寒い冬であり、

関係の皆さんには大変だったと思う。雪の中を子どもたちが歩いているんだということを実感しながらであり有意義であった。

質問 今回の安全点検に中学校付近がなかったことは残念に思う。近隣の市町村でも小中学校の校門前あるいは出入口付近には子どもたちの安全を守るために大抵信号機が設置されている。当町でも3小学校の校門前や出入口付近には以前から信号機が設置されているが、中学校の校門前は通行量が多いにもかかわらず設置されていない。近い将来、小学校が統合し中学校の敷地に建設されるならば統合基本計画の中でしっかりと検討していただくよう強く要望する。



にし 宗 亮

3期12年議員活動を支えてくれた皆さんに感謝感謝本当にありがとうございました

西 宗亮のつぶやき

ブランド農業振興費補助の制度は

農林課長——4年度の補助実績は約380万円



やまもと いわお
山本 岩雄

※1 果樹共済：農業保険法に基づき、自然災害、病虫害、鳥獣害等による農業者が受ける収穫量の減少等の損失を国と加入者の拠出に基づく保険の仕組みにより補てん。

※2 収入保険：全ての農産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下など、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる損失を農産物の販売収入の全体を補償。青色申告を行っている農業者(個人・法人)が加入できる。

コロナ禍の3年間
だった
少しずつ回復の兆
しが…

山本岩雄のつぶやき

農業振興

質問 果樹共済掛金補助申請の件数は。

農林課長 4年度の補助件数は143戸。

質問 収入保険とはどのようなものか。

農林課長 収入保険は農業者自身で生産販売する農作物が包括的にすべて補償の対象となる。価格低下や品質低下など経済努力では避けられないリスクを全て補償の対象としている。

質問 農業の労働力不足の解決は。

町長 町がマッチングなどして労働力の解決の糸口を

見つけていく。

これからの町政

質問 「孫たちが帰ってきたくなる町へ」というキャッチフレーズへの想いと方策は。

町長 経済の活性化が一番だと思つ。そのために住むところ・働くところ・教育という3つの要素が魅力的な町にしていきたいと考える。

質問 今までの町政を評価する点は。

町長 観光面ではABMORや志賀高原ヒルクライムといったイベント、手厚い子育て支援など良い政策は継続していきたい。

佐野遺跡 保存活用計画

質問 佐野遺跡保存活用計画とは。

教育長 保存および活用に



佐野式土器の展示 (志賀高原ロマン美術館特別展示)

組織的に取り組むための共通事項を明示し、その保存や整備に関する将来的な方針を明らかにするもの。

質問 この計画の進め方は。

教育長 基礎資料となる測量図を作成し、保存計画策定委員会で再整理作業の成果や過去の情報をもとに佐野遺跡の特徴を生かした計画にしていきたい。

小学校統合計画

質問 中学校のプールがなくなることについて。

教育長 水泳学習の今後のあり方について学校の意見や考えを聞いて、施設部会や教育部会で検討していきたい。

英語教育の強化

質問 英語教育の強化の具

体は。

町長 英語を話せない現実がある。外国人旅行者が増えれば実践でも英語が使えらる環境が増える。そうした環境も活用しながら実践でも使える英語力を磨ける方法を、教育現場と話し合いながら進める。

環境への取り組み

質問 世界首長誓約に宣誓して、ゼロカーボン政策を推進する考えは。

町長 ゼロカーボン政策は町としてもこれから率先して取り組んでいく。町の中に取組む環境を整備し、まずは公用車のあり方から今後検討していく。

廃ホテルなどの整備、再利用サポートとは

町長—M&Aも視野に入れた整備体制が必要

空家対策の推進を

【質問】 昨年11月に湯田中地区空家対策協議会より、空家対策の推進に関する陳情が提出。検討の状況は。

【建設水道課長】 町空家対策協議会に諮ったが、まだ結論は出ない。法律や制度等が見直しされる中、動向を注視し慎重に対応したい。

【質問】 過去に台風で廃ホテルの大型看板が落下した事例がある。台風や地震等の自然災害から人命の保護が最大限図られることが重要。危機管理の観点で町国土強靱化計画での空家の対応は。

【危機管理課長】 老朽化の進む倒壊の危険性が高い建築物の除去に係る支援についての検討となる。

【質問】 国土交通省の空家対策総合支援事業の活用に関

し、町行政の財政的な支援が必要。公約に掲げた廃ホテルなどの整備という点で合致すると思うが。

【町長】 国の補助金を積極的に活用して、廃ホテル、空家対策を進めたい。

学校統合の考え方

【質問】 学校統合に関して、一番大事なことは。

【教育長】 統合する理念が一番大事。統合準備委員会を設置し、整備計画案を総合教育会議で議論した。その中に、統合小学校の目指す姿・学校像および目指す子どもの姿や重点となる教育



空家の除去および利活用が課題

などの記述がある。

【質問】 ユネスコスクールへの加盟は。

【教育長】 今まで早くから取り組んできたことで、スムーズに移行できると期待。

ふるさと納税 倍増計画とは

【質問】 寄附額の3年度決算額および4年度の見込額は。

【総務課長】 3年度は3億3650万円、4年度は3億4000万円を超える見込み。

【質問】 公約の10億円は、倍増以上の目標値となるが、率直に達成できる見通しは。

【町長】 10億円のポテンシャルを当町は持っている。目標値の達成には、プロのアドバイザーやシステムづくりが必要なので、4月以降に

プロの導入を検討したい。6年度達成を目標にしたい。

【質問】 公約で10億円としているが、行政改革大綱実施計画では、8年度目標額を4億円としている。計画の見直しなど、今後の対応は。

【総務課長】 6年度の達成を前提に検討し、見直す必要があれば直す。

【質問】 5年度のふるさと基金充当事業は、41項目で1億3554万円。事業割合は、ハード18・6%、ソフト81・4%だが、長期にわたって使用され、年代を超えて幅広く住民にとって恩恵が受けられるといった観点からハード事業への増額配分を。

【町長】 今後、庁内で検討し、バランスよくやりたい。



たかだ よしひさ
高田 佳久

※M & A mergers and acquisitions (マージーズ・アンド・アクイジションズ)の略：企業の合併・買収のことで、2つ以上の会社がひとつになったり(合併)、あるいは会社が他の会社を買ったりすること(買収)です。

12年ぶりの選挙戦。6月議会から新体制でのスタート。新たな時代をどう築けるか

高田佳久のつぶやき

小学校の統廃合、一旦立ち止まってには賛成、今後は

町長―町の将来にとってベストな方法を模索したい



ゆもと りこ
湯本るり子

質問 プール問題、通学方法、空き校舎の活用策、事業費等も関係があるので、並行して検討し町民合意を図る必要があると思うが。

町長 物価高が進んでいく中で費用増加の可能性が

あると思っている。その辺もじっくり吟味しながら協議

していくことが必要。

農道の管理は

質問 管理条例を制定する必要があるのではないか。

農林課長 平成17年度に策定した町農道認定および管理要綱に基づき農道認定や廃止変更および管理などの手続きを行っている。見直しが必要な場合は要綱の一部改正を検討する。

質問 現在の農道台帳はいつ作成されたのか。

農林課長 平成2年度に様式を統一し、整理したものを管理・保管している。

質問 9月議会で「農道の管理は、原則として地元受益者が行う」と答弁されたが、町であると思うが。

農林課長 管理者は、町。訂正させていただく。

質問 中部電力の送電線鉄塔工事のことで農道と町道台帳の不自然な部分があった。農道と農道の間には道が入っている。行政の立場でつくる要綱ではなく、議会の議決が必要な条例で検討していただきたい。

町長 必要であれば条例等つくっていく検討をしたい。

平和行政は

質問 戦争か平和か大きな岐路にある現在、平和行政は重要。町長の所信は。

町長 ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、武力行使を禁止した国連憲章に

「こどもかいぎ」という映画を観た。子どもたちは自分の意見を持っている。意見を聞いてあげる場が大事

湯本るり子のつぶやき

町長 学校自体にプールが必ずしも必要ではないと思うが町には必要ではないかという考え方を持っている。

質問 プールは大事な施設だと思うが。

町長 準備委員会や教育委員会と協議を重ね、町民の合意もとり進めたい。

質問 プールは大事な施設だと思うが。

町長 準備委員会や教育委員会と協議を重ね、町民の合意もとり進めたい。



南小学校プールと体育館

福祉医療費の窓口完全無料化を

町長—町民ニーズ、財源等を考慮し考えたい



わたなべ まさお
渡辺 正男

副町長 現在1レセプト当たり500円の負担をいただいている。この自己負担は総額で3年度は約940万円、4年度は930万円程度と見込まれる。無料化した場合、町負担はほかにシステム改修などの経費が必要となる。

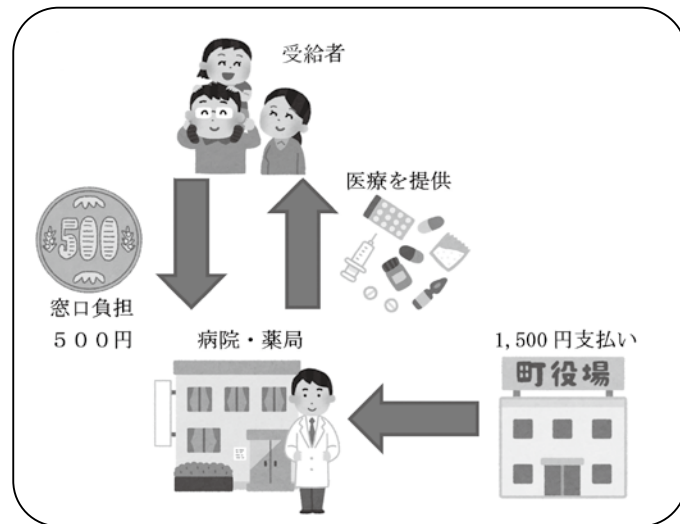
質問 県内77自治体中、無料化は18自治体、300円が14自治体となっている。子育てしやすい町となるよう、覚悟を持って取り組んでいただきたい。

副町長 医療費の軽減、特に子育て環境の整備という観点から非常に重要なことだと思っている。あとは財源の話になる。子育て支援を総合的に捉えた中で効果的な財源投入が必要だ。

18歳以下の国保税均等割の軽減を

○現物給付方式

(例) 医療費10,000円、未就学児（保険診療の自己負担2割⇒2,000円）の場合



副町長 今年度から少子化対策の一環として全国的に未就学児の均等割2分の1軽減が行われている。厚労省は「制度上、国の基準を超える軽減税率の適用は市町村においてはできない。」

一律減免も、法律違反と明確には言えないまでも不適當である」という見解を示しているが、町村会等では、国に対してこの財源確保を求めて制度拡充の要望を出している。子育て環境の充

実は、大変重要。税率改定の議論にも合わせながら検討していくべき課題だと考えている。

スポーツのまちづくりにどう取り組むか

教育長 スポーツは体を動かすこと、楽しむことに加えて、健康寿命の延伸や体力向上、介護予防、交流人口の増加、地域経済の活性化など、まちづくりの視点においても多面的な効果を有している。町民、地域、学校、スポーツ関連団体、行政が連携しながら推進していく必要がある。

質問 前回のスポーツ推進計画では「社会体育館について具体的な検討を進めます」となっていたが、今回の計画ではどうなったか。

教育長 「既存施設の必要な改修を進めるとともに学校の体育施設の有効活用を図ります」となっている。

質問 5年間で1回でも「具体的な検討をしたのか」

教育長 承知していない。今回の計画は、第6次総合計画を踏まえて策定した。

質問 「スポーツ合宿やイベントの誘致」の文言も削除されているが、これはスポーツと観光を結びつけるという大事な視点だった。

町長 私もスポーツと観光は、非常に密接な関係があると思っている。スポーツ施設がないということは、選挙中、いろんな方々から聞いているので、今後、総合型地域スポーツクラブ設立を踏まえて、どういう施設があるべきなのか検討していきたいと思っている。

たどたどしく「わた」と記した息子。無効票にはなったもののその健気な挑戦に感謝

渡辺正男のつぶやき

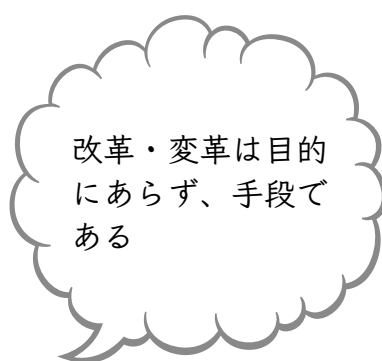
小学校の1校統合はどうするのか

町長—準備委員会で議論を重ね町民と情報共有し進める



こばやし かつひこ
小林 克彦

- ※1 大規模校：小学校の全学年で、25学級以上の学校
- ※2 小規模校：小学校の全学年で、いずれかの学年に単学級が生じ、全学年で11学級以下の学校
- ※3 極小規模校：小学校の全学年で、2学年合わせて16人以下で構成される学校
- ※4 複式学級：2つ以上の学年を、ひとまとめにした学級



改革・変革は目的
にあらず、手段で
ある

小林克彦のつぶやき

【質問】 統合は一旦立ち止まって議論する、とは具体的に何をどうするのか。

【町長】 町民としっかりと情報共有や検討をしながら、ただ単純に子どもの数が減ったのでまとめる、ということではなく、魅力のある教育を検討していきたい。

【質問】 「魅力ある教育」という表現は非常に魅力があるが、その意味する内容がわからない。そもそも魅力とは一人ひとりが異なり、難しいのではないか。

【町長】 たとえば須賀川の「里山ようちえんおやまのおうち」などや英語教育、西小学校の跡地を使って、

スポーツとアートに特化した学校を持つてくるなど、教育という側面で経済活性化と人口増加をはかる議論をしていきたい。

【質問】 大規模校、小規模校との発言があったが、現状は小規模校と極小規模校の状況にある。そもそも1校統合は、北小学校の保護者から提起された切実な思いからだ。それも今では全町で出生人数が40人台となり、今後さらに児童数は減となることから統合しなければ、全校がクラス替えどころか、複式学級も予想される。この状況を見込むなかで、1校統合が議論され、審議会

やアンケートを重ね、1校統合やむ無しとして今回の整備計画案の提案に至っている。統合校の議論は当然



統合小学校建設予定地（中学校敷地）

だが、白紙や原点に戻るなどありえない。

【町長】 これから準備委員会を通じて、しっかりと議論を重ね町民の皆さまとも情報を共有して進める。

【質問】 観光の売り出し方について、20日の答弁で志賀高原・湯田中波温泉・北志賀高原を一体で売り出す提案に対し、それぞれ特性があるのでは、22日の答弁では、志賀高原ブランドは過去のものなので、町一体でやるべきと答弁があったが、結局どちらなのか。

【町長】 町一丸となることと、3地区の個性を伸ばし連携をとることと想っている。

【質問】 町の活性化について、志賀高原の施設に言及され「ホテル・リフトは老朽化しており、リニューアルが必要だが、民間には多額の資金を融資する銀行もなく、このままでは志賀高原のスキー場は死んでいくだろう。町ができることを模索したい」との答弁だが、何か直接するのか。

【町長】 支援の仕方は検討会議を開き、専門家を入れて検討していく。

小学校1校統合に向けての考えは

町長—魅力のある学校をつくるための議論を深めていきたい



しろとり きんじ
白鳥 金次

【質問】 統合小学校整備計画（案）の第2章、基本方針をどのように考えているか。

【町長】 4つの思いをひとつにつなぎ地域とともにある学校。故郷から世界に羽ばたく一人ひとりが未来のつくり手。このことを含め、整備計画（案）に書いてあるようなユネスコスクール^{※1}、ESD^{※2}を重点とする教育。人権教育、福祉教育。「ユニティスクールも含めここに書かれていることをもちろん尊重している。非常に素晴らしいことが書かれていると思う。

【質問】 魅力ある学校にしていくなかで、基本計画にプラスアルファも入れたいというが、内容は。

【町長】 この策定に私は関わっていない。今後、統合準備委員会が進むにつれて議論をしていくテーマとして、より魅力をつくれなにかということで、英語教育を、さらなる強化をしてしっかりと検討材料に入れていきたいので、プラスアルファをこちらの基本計画に載せる形で考えている。

【質問】 統合小学校の目指す姿、これを実践するなかで魅力ある人間に成長していくと思っている。そういう見方で魅力というのを解釈してもいいと思うが、町長の考えは。

【町長】 そのとおりだと思う。ここで育つ子どもたちが魅力のある人間になってほしいという思いと、学校そのものが魅力的で、外からこの学校に通わせたいと思うてもらえるような、学校教育ができるようになるという。それを目指していきたい。

い。

【質問】 統合小学校整備計画（案）を、地域住民、保護者、これから子育てされる方、また、今まで学んでいる児童や生徒にしっかりと示していくことが大事だと思っ

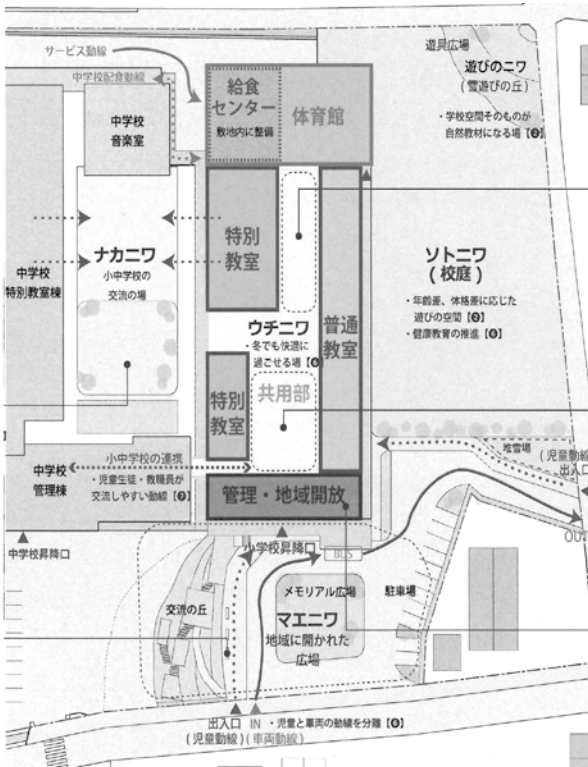
ている。場合によっては足りない部分は、つけ加えていけば良いと考えるが、町

長の考えは。

【町長】 しっかりと今の子どもたちと、今の保護者だけでなく、これからの保護者になる方々とも意見交換をしながら中身を詰めて理解を得たいと思っている。

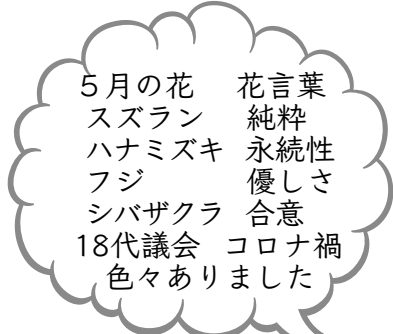
【質問】 共同作業への支援を用水路、農道等維持

配置イメージ図は検討用に作成したものであり、決定したものではありません。（町HPより）



管理については、高齢化と後継者不足のなかで苦慮している。機械の借上げ、原材料支給での支援は。

【町長】 引き続き、少しでも負担軽減となるよう農林課等と協議しながら、町の皆さまのそういう難しいところをカバーしていきたい。



5月の花 スズラン ハナミズキ フジ シバザクラ 18代議会 色々あり
花言葉 純粋 永続性 優しさ 合意 コロナ禍 ありました

白鳥金次のつぶやき

誌上議会報告会アンケート結果



意見について確認（令和4年12月23日）

令和5年1月25日発行の議会だよりにおいて、第16回誌上議会報告会を開催しました。

その際にアンケートを同封し41人の方からご意見を頂戴いたしました（集計期間1月25日～2月15日）。

たくさんの方にご協力いただき、誠にありがとうございました。「議会に望むこと」について、貴重なご意見を多数いただくことができましたことに感謝を申し上げます。なお、意見については今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。

また、アンケート結果は議会HPに掲載しておりますので、ご覧ください。

第16回 誌上議会報告会アンケート結果集計表



| | | |
|-------|--------------|----|
| 1. 性別 | 男 | 31 |
| | 女 | 10 |
| | その他 | 0 |
| | 回答したくない | 0 |
| | 計 | 41 |
| 2. 年代 | 10代 | 0 |
| | 20代 | 0 |
| | 30代 | 1 |
| | 40代 | 0 |
| | 50代 | 5 |
| | 60代 | 13 |
| | 70代～ | 22 |
| | 無回答 | 0 |
| 計 | 41 | |
| 3. 職業 | 農林水産業 | 9 |
| | 自営業・会社経営・自由業 | 5 |
| | 会社員・公務員・店員等 | 8 |
| | 学生 | 0 |
| | パート・アルバイト | 3 |
| | 無職 | 10 |
| | その他 | 6 |
| | 無回答 | 0 |
| 計 | 41 | |

| | | |
|--------------|---------|----|
| 4. お住まい | 東部 | 12 |
| | 南部 | 8 |
| | 西部 | 13 |
| | 北部 | 8 |
| | 無回答 | 0 |
| | 計 | 41 |
| 5. 誌上での議会報告会 | 良い | 15 |
| | 仕方がない | 10 |
| | どちらでもない | 11 |
| | あまり良くない | 3 |
| | 良くない | 2 |
| | 無回答 | 0 |
| | 計 | 41 |
| 6. 議会だより | 読んでいる | 38 |
| | 読んでいない | 3 |
| | 無回答 | 0 |
| | 計 | 41 |
| 7. 議会ホームページ | 見ている | 10 |
| | 見ていない | 31 |
| | 無回答 | 0 |
| | 計 | 41 |

実施期間：R5.1.25～2.15 回答者数：41人

皆さんからの 請願・陳情

| 受理番号 | 件名 | 陳情者 | 採決結果 |
|--------|---|--------------------------------|--------------|
| 陳情第12号 | 空き家対策に関する陳情書（継続審査） | 湯田中区空き家対策協議会 会長（湯田中区长）宮崎 幸雄 | 採 択 全会一致 |
| 陳情第1号 | LPガス料金上昇に対する直接的な負担軽減を求める陳情書 | 一般社団法人長野県LPガス協会 宮川 浩 | 採 択 全会一致 |
| 陳情第2号 | 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保護を求める陳情 | コドソラ 代表 与那城 千恵美 | 趣旨採択 全会一致 |

議会全員協議会

第1回（1月13日）

- (1) 議会側からの提出案件
①第16回山ノ内町議会報告会について

第2回（2月8日）

- (1) 執行機関からの提出案件
①一般会計補正予算（専決）について
②奥志賀高原町有地の貸付について

第3回（3月8日）

- (1) 執行機関からの提出案件
①都市計画マスタープラン（案）について
②空家等対策計画（案）について
③町立小学校統合に係る進捗状況について
(2) 議会側からの提出案件
①山ノ内町議会の個人情報の保護に関する条例等について
②山ノ内町議会アンケートについて

第4回（3月29日）

- (1) 執行機関からの提出案件
①副町長の選任について
②教育委員会教育長の任命について

第5回（3月29日）

- (1) 執行機関からの提出案件
①財務書類について
②油漏えいについて
③教育振興基本計画について
④スポーツ推進計画について
⑤町立統合小学校整備計画（案）について
(2) 議会側からの提出案件
①令和4年度議会議員活動費会計報告について



15年表彰受賞者 高田佳久議員

表 彰

全国町村議会議長会 （自治功労者）表彰

この度、議会議員を15年在職された方を対象に、全国町村議会議長会から長年の功績をたたえ、自治功労者表彰が授与されました。

当町では高田佳久議員が表彰され、3月29日の議会最終日終了後に伝達式が議場にて行われました。

新年度一般会計予算を減額修正して可決 統合小学校建設調査設計業務関連を減額

5年度の予算審査は、3月8日に予算決算審査委員会（委員長 徳竹栄子 副委員長 山本岩雄）へ付託し、10日および13、16日と5日間をかけて審査しました。

一般会計では、減額修正の動議があり採決の結果、減額修正に対し賛成9反対3で、減額分を除いた予算案に対し賛成10反対2で可決すべきものと決定しました。

国民健康保険特別会計と介護保険特別会計は賛成10、反対2で可決すべきものと決定。後期高齢者医療保険特別会計、公共水道事業会計、農業集落排水事業会計、水道事業会計は全会一致で可決すべきものと決定しました。

減額修正を賛成多数で可決

16日の予算審査全体会議では、湯本晴彦議員から減額修正の動議が提案されました。提案理由は、15日の予算審査で、統合小学校整備計画案の説明を教育委員会より受けたが、拙速感が否めない。また、学校統合は一旦立ち止まって議論したい意向が町長にあるためとし、統合小学校建設調査設計業務関連は減額すべきと提案。通常では、直ちに動議に対する採決を行います。重要課題といつこともあり、全議員の意見表明を実施した後に

採決としました。意見表明では、賛成意見が7反対が3保留が2でした。

○減額の内容

| | | |
|---------|---------|---------|
| 債務負担行為 | 令和5・6年度 | 8,000万円 |
| 歳出（教育費） | 委託料 | 3,025万円 |

部会意見

一般会計

〈総務費〉

○心算と香附金は経費面の検証を含め、目標を達成するために効果的な事業推進をはかること。

○シティプロモーションは目的と対象者を明確にし、戦略的に取り組むこと。

○DX推進事業は業務効率があがるようにつとめること。

〈危機管理費〉

○備蓄用災害生活用品は、その内容を検討し、充実をはかること。

〈衛生費〉

○ゼロカーボンシティの宣言に向け、検討すること。

〈農林水産業費〉

○国・県を含めた各種補助・支援制度は、周知にため有効な活用につとめること。

〈土木費〉

○危険な空家の解消とともに、増やさない対策につとめること。

〈商工費〉

○第4次観光交流ビジョン策定は、新しい時代を見ずえて積極的に取り組むこと。

○高付加価値補助金等活用事業は、ガイドラインを定め適切に取り組むこと。

○街並み環境整備事業は、検討組織を設置し万全を期すこと。

○住宅用火災警報器購入補助事業は補助要綱を見直し、設置率向上につとめること。

○統合小学校整備計画は丁寧な説明につとめ、地域、保護者および子どもの意見を反映させて策定すること。

○総合型地域スポーツクラブ設立は、各種競技団体の意見を反映させてつとめること。

特別会計等

〈水道事業会計〉

○新東部浄水場の安定的な給水に万全を期すこと。

○配水池等の清掃作業は定期的におこなうこと。



統合小学校建設予定地（区画：線で囲まれた区域）
 統合小学校整備計画（案）に加筆

総括意見

(抜粋)

予算決算審査委員会

委員長

徳竹栄子

新型コロナウイルスへの対策が進んだことにより、経済活動への悪影響が徐々に薄れ人々の往来が回復に向かい、インバウンド需要も持ち直し始め明るい兆しが見えた。一方、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う混乱や、物価上昇が今も続いている。町の観光産業、町民の生活環境が向上するにはまだまだ程遠い。

このような不安定な社会経済情勢のもと、第6次町総合計画の3年目の5年度一般会計予算は、前年度比7億8039万円(9.8%)減の72億775万円となった。5年度当初予算は、町長選挙があったことから骨格予算であり、6月議会では経済活性化に向けた肉付け予算に期待したい。

(1) 歳入について

町税は16億4008万円、個人町民税は4億2940万円、法人町民税は6650万円を見込む。地方交付税は、普通交付税、特別交付税を合わせて27億円、繰入金は、5億7366万円とした。財政調整基金は3億1214万円、ふるさと基金は1億3554

(2) 歳出について

17項目の新規事業・拡充事業が計上されている。産業分野ではインバウンドセールズコール支援事業補助金、ファミトリップ支援事業補助金など外国人観光客の入込増加、農業分野では、新規就農者育成総合対策、スマート農業機械導入支援事業など評価する。保健・医療・福祉分野では、出産・子育て応援給付金、アピアランスケア助成事業など、教育・文化分野では、小学校ICT教育の推

進、佐野遺跡保存活用計画策定に期待する。都市基盤・生活環境分野では、街並み環境整備事業、防災無線システム更新、特殊詐欺防止対策機器補助金、消防団員処遇改善などを評価する。

(3) まとめ

新町長のもと、第6次町総合計画イノベーション戦略プラン20をベースに、新しい施策を創出し、いきいきと暮らす・夢と希望のある郷土を目指し、取り組むことを切望する。

そして、住んでみたい町人にやさしい町に向けて「虚心坦懐」でありたい。



スマホから気象データ取得可能となる農業用気象センサー(宇木地区)

本会議での討論

一般会計予算

(修正案)

賛成討論

湯本晴彦

町長の考えもはっきりしていないなかでの予算計上はいささか拙速。町長の公約を見ているから予算提案をした担当部局も良くないし、それを容認した町長も慎重さが欠けている。また「中学校の敷地につくるから小中一貫だ」ではなく、「小中一貫が良いから、中学校敷地内につくる」というのが本筋。クラスの適正規模が何人というのではなく、何を学ばせるかを重視してクラス編成を考えていくべき。

反対討論

白鳥金次

令和5年度の予算編成にあたって、町当局は、1校統合の方針について、住民、議会の賛同のもとに、教育委員会、財政、税務等々庁舎内で検討に検討を重ねた上で、編成をされ

国民健康保険特別会計予算

反対討論

渡辺正男

た予算である。一般質問での、平澤町長の考えについては、1校統合に反対では無いと受け止めている。予算決算審査委員会において、賛否を問うた時と状況が変わってきている。われわれ議会が削除をすることは、あってはならない。

一般会計予算

(原案)

反対討論

湯本るり子

令和5年度町予算は、総額72億3800万円、2月に町長選挙があったことから骨格予算。予算執行にあたっては行政運営の指針である最小の経費で最大の効果につとめることの説明。前町長の下で実質編成された当初予算が、そのまま町民から支持されていると考えることも無理がある。

反対討論

渡辺正男

保険給付費17億4700万円余で基金取り崩しは約5600万円。どちらも多めに見込んでいる感が否めない。歳出を多く見込めば、歳入不足が生じそれを基金で埋める、いつも格好だが、ここ数年基金が減った試しがない。基金残高と繰越金は被保険者1人当たり5万5000円にもなる。5年度は、第9期の計画策定の年。介護保険料設定に当たっては、大幅な引き下げに取り組みべき。

あの意見どうなった？

追跡

審査意見その後

昨年令和4年度の審査意見に対し、町がどう取り組んできたのか、令和5年度予算審査の前に現況報告のあった主なものを紹介します。

時代に即した観光情報発信に積極的に取り組むこと

誘客・宣伝等の事業実施にあたっては、より有効な宣伝媒体・情報発信ツールなどを観光連盟と連携しながら研究・検討をすすめており、今年度はWEB・SNSを活用した広告・宣伝等を実施した。

WEB広告では閲覧情報（旅行者ニーズ）のほか、閲覧者の地域や世代、性別などの情報の把握も可能であり、ターゲットを絞った情報発信などに効果的であることから引き続きWEBやSNSを活用した情報発信を行うなか、効率的な情報発信のあり方について検討をすすめている。

危険な空家が増えないように対策につとめること

4年度から周辺道路や民家に危険を及ぼすと判定した空家に対して除却費を補助する制度を開始し、2件の実績があった（山ノ内町老朽危険空家等除却費補助金事業 補助額 解体費用の2分の1、上限50万円）。

農地情報管理・公開システムの有効活用につとめること

農地情報管理システムの運用については、従来どおり最新の農地台帳を地図上へ表示できるほか、各種申請手続きに必要な位置図や証明書などの作成、農地パトロールなどの地図作成用システムとして管理を行い、来庁者への情報提供を行っている。

「eMAFF農地ナビ」は、農業委員会等が整備している農地台帳および農地に関する地図について、インターネットで誰でも

見ることができるよう、農地法に基づき全国段階で一元的なシステムとして整備されたものです。

農地に関する情報（所在・地番、地目、面積、および賃借権等の権利の種類とその存続期間等）を地図とともに公表（※個人情報情報は非公表）しています。

利用者は、全国の農地情報を横断的に検索・閲覧することができます。



公開される農地情報

1. 市街化区域を除くすべての農地情報
2. 農地台帳に記載される公表項目
3. 一筆ごとの農地地図の情報

※公図等で場所が特定されていない農地など、公開されていない情報もあります。

【関連リンク】

eMAFF農地ナビ



子育て世代包括支援施策は、妊娠期から子育て期にわたり総合的におこなうこと

子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点、子育て支援センター等と連携し、出産や育児に不安を抱える家庭への相談支援を行い、妊婦健診や産婦健診、産後ケア、乳幼児健診などで、母体の健康管理や乳幼児の健やかな成長を支援し、不妊・不育症治療補助や出産・育児祝い金など、経済的な面も支援することで総合的に切れ目のない支援を行っている。また、支援が必要と思われるケースについては、健

康福祉課（子ども支援係、健康づくり支援係）と教育委員会事務局の担当が情報共有を行いながら対応している。



西部地区の農地を持続させるために

今回は、農地維持などに取り組んでいる西部地区営農組合の下部組織、「人・農地プラン」事業専門部会長の藤浦忠広農業委員から寄稿いただきました。

西部地区の現状

令和元年度に実施した「農地利用アンケート」で、農地利用の意向では、規模拡大3%、現状維持

76%、規模縮小9%、草刈りのみ11%でした。

また、後継者の問題では、後継者が決まっていないが48%、そのうち70歳以上が経営する農家の



遊休農地の草刈り活動（本郷地区）

25%は全く目途がたっていないなど、西部地区における農地の健全な維持は困難なことがわかりました。

また、毎年8月に農業委員が行う農地パトロール結果では、遊休農地の割合が年々増加し、令和3年度、西部地区の農地全体（424ha）の5.8%が遊休農地でした。

アンケートや農地パトロールから、優良な果物を生産できる西部地区が、持続的に農村を維持するには早急な対策が必要であることがわかり、あわせて強い危機感を覚えました。

事業の絞り込み 遊休農地解消を 突破口に

「人・農地プラン」事業専門部会の事業内容では、①将来を見据えた担い手づくり②就農しやすい地域づくり③農地利用の調整や遊休農地の削減

対策④若手農業者の育成等がありますが、先の結果から、当部会がやるべき事業の核は、遊休農地の削減対策にあることが役員会で共有されました。

事業の具現化

「人・農地プラン」を作成する上での基本は、地域の将来は地域で決めることであり令和4年度は「遊休農地化をどう防ぐ」をテーマに、部会員

でワークショップを行いました。その結果、多様な担い手（ターニンによる専業、半農半X）確保、基盤整備による農作業の効率化と負担軽減、草刈り組織による更地状態維持、農地以外の利用の促進（公園、ドッグラン）、

遊休農地の非農地化などの意見が出されました。このワークショップを

受け、当部会で取り組める事業として草刈りボランティアによる対応を選択し、9月末、選定された農地（本郷地区13a、横倉地区13a）を部会員

新規就農者、行政の約30人で作業をしましたが、その後、早速横倉地区の農地の担い手が現れました。

※半農半X（はんのうはんえつくす）持続可能な農ある小さな暮らしをベースに「天与の才」（X＝天職、使命、生きがい、大好きなこと、ライフワークなど）を世に活かす生き方。

今後の課題点 と展望

「人・農地プラン」の目指すところは、今後10年、優良農地を維持することです。このため、高齢農家で後継者の目途が立たない農地の紐づけが必要になります。ただ、部会の介入範囲についてはデリケートな部分にかかわるため、難しい課題でもあります。

当部会として、できること、やるべきことの優先順位を明確にし、西部地区の農村が持続的に発展できるように尽力していきたいと思っております。皆さまのご協力をお願いします。

編集後記

今回の議会だよりは、4月23日執行の町会議員選挙への影響を考慮し、例年より1か月遅れの5月発行とさせていただきます。

2月26日に執行された町長選挙で平澤新町長が誕生しました。3月議会は平澤町長が招集する初めての議会となり、一般質問の届け出を町長の所信表明後としたことで、例年と異なる変則的な日程となりました。

令和5年度一般会計当初予算は、異例の修正可決。一般質問の傍聴者数は56人と大幅に増え、最終日には、増田前副町長の退任にもなう久保田新副町長の選任を全会一致で、柴草前教育長の退職にもなう竹内新教育長の任命は、賛成多数（6人）で同意しました。まさに激動の3月議会でした。

私たちにとっては最後の議会だよりになりました。皆さんに親しんでいただけの誌面づくりにとめてきたつもりです。改善点はまだまだありますが、それは次の広報常任委員会に託します。ありがとうございました。

（渡辺正男）